



平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エスケーアイ
コード番号 9446 URL <http://www.ski-net.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 昌也

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 田川 正彦

四半期報告書提出予定日 平成28年5月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

TEL 052-262-4499

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第2四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	9,675	3.5	384	△3.5	323	△18.7	167	△25.8
27年9月期第2四半期	9,345	△0.9	398	34.5	397	29.2	225	△23.0

(注)包括利益 28年9月期第2四半期 101百万円 (△71.8%) 27年9月期第2四半期 361百万円 (△3.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第2四半期	15.39	15.23
27年9月期第2四半期	20.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第2四半期	16,433	4,043	22.9
27年9月期	13,573	4,094	28.2

(参考)自己資本 28年9月期第2四半期 3,765百万円 27年9月期 3,834百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年9月期	—	10.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,953	5.5	855	13.7	769	2.6	377	△5.6	34.73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年9月期2Q	10,856,500 株	27年9月期	10,856,500 株
② 期末自己株式数	28年9月期2Q	117 株	27年9月期	117 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年9月期2Q	10,856,383 株	27年9月期2Q	10,856,383 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(5) その他	11
(重要な後発事象)	11
(参考資料)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、急激な円高や原油安の他、マイナス金利の導入により経済環境が混沌とするなか、企業業績については業態により温度差はあるものの、増益基調に若干陰りがみられる状況となってまいりました。

このような経済環境のもとで、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は9,675百万円（前年同四半期比3.5%増）、営業利益は384百万円（前年同四半期比3.5%減）、経常利益は323百万円（前年同四半期比18.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は167百万円（前年同四半期比25.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①移動体通信機器販売関連事業

移動体通信機器販売関連事業につきましては、平成27年12月末現在で携帯電話の普及台数が15,441万台を超え、各移動体通信事業者とも積極的な販売競争を展開し、電力と通信とのセット販売等も行いましたが、総務省による販売政策に対する要請（キャッシュバックの抑制等）に端を発して、業績への顕著な影響がみられるなか、当社は各店舗において顧客満足度の向上と、総合力アップを図りながら販売促進に努めました。この結果、当第2四半期連結累計期間における移動体通信機器の販売台数は、新規・機種変更を合わせ82,082台（前年同四半期比8.3%減）となりました。この結果、売上高は8,432百万円（前年同四半期比0.4%増）でしたが、営業利益は303百万円（前年同四半期比3.4%減）となりました。

②太陽光発電事業

太陽光発電事業につきましては、株式会社エスケーアイで前期迄に2発電所を開設後、平成28年2月に埼玉県に「エスケーアイ嵐山発電所」を、平成28年3月に三重県に「エスケーアイ東員第1発電所」を各々開設し、順調に稼働している他、平成28年4月には子会社であるエスケーアイ開発株式会社で「エスケーアイ東員第2発電所」の稼働を開始しており、将来的な利益への寄与は確実に見込めますが、和歌山及び東広島の大規模プロジェクトについては、計画の進捗に伴い先行投資も拡大しております。この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は44百万円（前年同四半期比203.8%増）、営業損失は7百万円（前年同四半期は6百万円の営業損失）となりました。

③保険代理店事業

コールセンターを拠点とした保険代理店事業につきましては、子会社である株式会社セントラルパートナーズにおいて、平成26年4月に新潟県新潟市に新潟支店を開設し、更に販売力と生産性の向上に繋げるほか、複数の保険会社の商品の取扱を継続しております。この結果、前述の新商品の販売が順調に推移し、継続率も改善されており、当第2四半期連結累計期間における売上高は561百万円（前年同四半期比2.3%増）、営業利益は46百万円（前年同四半期比10.7%減）となりました。

④葬祭事業

葬祭事業につきましては、子会社であるエスケーアイマネジメント株式会社は平成21年9月に設立後、現在5会館を運営しており、各会館の認知度も着実に上昇するなか、今後の需要を見据えた積極的な営業政策を継続しております。この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は343百万円（前年同四半期比1.6%増）、営業利益は30百万円（前年同四半期比1.2%減）となりました。

⑤不動産賃貸・管理事業

不動産賃貸・管理事業につきましては、子会社であるエスケーアイ開発株式会社で平成19年8月に大型立体駐車場「エスケーアイパーク法王町」を名古屋市千種区にオープン後、稼働率が順調に推移しており、太陽光設備の販売も行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は380百万円（前年同四半期比368.8%増）、営業利益は16百万円（前年同四半期比68.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産の状況は、前連結会計年度末と比較して現金及び預金が212百万円増加し、売掛金が189百万円増加したものの、商品が231百万円減少したことなどにより、流動資産は164百万円増加し7,171百万円となりました。一方、固定資産は有形固定資産が2,480百万円増加したことなどにより、全体で2,695百万円増加し9,262百万円となりました。その結果、資産総額は2,859百万円増加し16,433百万円となりました。

負債については、前連結会計年度末と比較して買掛金が480百万円減少したことなどにより、流動負債は229百万円減少し5,776百万円となりました。一方、固定負債は長期借入金が2,651百万円増加し、社債が310百万円増加したことなどにより、全体で3,140百万円増加し6,613百万円となりました。その結果、負債総額は2,910百万円増加し12,389百万円となりました。

また、純資産については、前連結会計年度末と比較してその他有価証券評価差額金が72百万円減少したことなどにより50百万円減少し4,043百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期の業績予想につきましては、通期では計画通り進捗する見通しのため、連結および個別とも当初の計画（平成27年11月12日付の決算短信で公表）を変更していません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計基準等の改正に伴う会計方針の変更）

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、
「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）および「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,391,676	3,604,001
売掛金	2,113,667	2,303,413
商品	1,247,314	1,016,020
繰延税金資産	77,619	62,966
その他	176,286	184,862
流動資産合計	7,006,563	7,171,264
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,597,379	1,747,424
機械装置及び運搬具(純額)	434,963	1,407,112
土地	1,527,700	1,618,728
建設仮勘定	964,054	2,228,915
その他(純額)	24,811	27,478
有形固定資産合計	4,548,910	7,029,659
無形固定資産		
のれん	180,568	180,568
その他	59,823	268,266
無形固定資産合計	240,391	448,834
投資その他の資産	1,777,932	1,783,773
固定資産合計	6,567,234	9,262,266
資産合計	13,573,797	16,433,531
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,707,175	1,226,856
短期借入金	3,115,000	3,170,000
未払法人税等	118,328	49,627
賞与引当金	101,830	102,649
役員賞与引当金	62,000	35,375
その他	902,047	1,192,089
流動負債合計	6,006,382	5,776,597
固定負債		
社債	510,000	820,000
長期借入金	2,113,353	4,764,353
役員退職慰労引当金	256,190	259,120
退職給付に係る負債	60,222	64,840
資産除去債務	101,323	223,091
繰延税金負債	397,699	450,051
その他	33,816	31,569
固定負債合計	3,472,605	6,613,025
負債合計	9,478,987	12,389,622

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	729,364	729,364
資本剰余金	666,862	666,862
利益剰余金	1,880,818	1,885,008
自己株式	△26	△26
株主資本合計	3,277,018	3,281,209
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	557,002	484,510
その他の包括利益累計額合計	557,002	484,510
新株予約権	21,247	37,185
非支配株主持分	239,540	241,002
純資産合計	4,094,809	4,043,907
負債純資産合計	13,573,797	16,433,531

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
売上高	9,345,910	9,675,454
売上原価	7,019,888	7,194,909
売上総利益	2,326,022	2,480,545
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	746,175	806,517
賞与引当金繰入額	87,092	98,810
役員賞与引当金繰入額	28,500	35,375
退職給付費用	10,186	9,459
役員退職慰労引当金繰入額	10,470	12,050
その他	1,044,697	1,133,443
販売費及び一般管理費合計	1,927,122	2,095,655
営業利益	398,899	384,889
営業外収益		
受取利息	144	904
受取配当金	10,216	13,263
コンサルティング費返還益	6,500	—
その他	7,697	11,961
営業外収益合計	24,558	26,129
営業外費用		
支払利息	12,020	25,952
融資手数料	7,653	16,912
投資有価証券評価損	—	13,480
為替差損	—	18,996
その他	5,908	12,153
営業外費用合計	25,581	87,494
経常利益	397,876	323,524
特別利益		
固定資産売却益	2,638	6,276
受取保険金	—	11,868
特別利益合計	2,638	18,144
特別損失		
固定資産除却損	—	2,720
固定資産売却損	5,757	—
ゴルフ会員権評価損	—	1,100
投資有価証券評価損	10,070	—
店舗盗難損失	—	11,640
減損損失	—	11,183
その他	1,590	—
特別損失合計	17,418	26,645
税金等調整前四半期純利益	383,095	315,024
法人税、住民税及び事業税	105,250	42,109
法人税等調整額	41,361	98,287
法人税等合計	146,612	140,397
四半期純利益	236,483	174,627
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,415	7,590
親会社株主に帰属する四半期純利益	225,067	167,036

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
四半期純利益	236,483	174,627
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	125,454	△72,636
その他の包括利益合計	125,454	△72,636
四半期包括利益	361,937	101,991
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	350,478	94,543
非支配株主に係る四半期包括利益	11,459	7,447

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	383,095	315,024
減価償却費	87,802	115,645
賞与引当金の増減額(△は減少)	△279	818
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△17,260	△26,625
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,383	4,618
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,470	2,930
株式報酬費用	6,638	15,937
受取利息及び受取配当金	△10,361	△14,168
支払利息	12,020	25,952
社債発行費	—	8,289
固定資産除売却損益(△は益)	3,119	△3,556
投資有価証券売却損益(△は益)	△556	—
投資有価証券評価損益(△は益)	10,070	13,480
売上債権の増減額(△は増加)	△10,416	△189,745
たな卸資産の増減額(△は増加)	△58,926	231,323
仕入債務の増減額(△は減少)	△151,211	△480,319
未払金の増減額(△は減少)	94,797	△43,594
未払消費税等の増減額(△は減少)	△82,424	△16,532
為替差損益(△は益)	—	18,996
減損損失	—	11,183
その他	△170,039	50,077
小計	114,923	39,737
利息及び配当金の受取額	9,691	13,219
利息の支払額	△12,275	△25,928
保険金の受取額	—	11,868
法人税等の支払額	△94,539	△102,425
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,800	△63,528
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△21	△21
有形固定資産の取得による支出	△849,921	△2,458,809
有形固定資産の売却による収入	6,833	18,154
無形固定資産の取得による支出	△184,615	△160,975
投資有価証券の取得による支出	△29,140	△100,000
投資有価証券の売却による収入	15,126	—
差入保証金の差入による支出	△41,795	△18,892
差入保証金の回収による収入	3,584	7,933
預り保証金の受入による収入	348	38
その他	△2,908	△774
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,082,509	△2,713,346

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	940,000	55,000
長期借入れによる収入	444,000	2,840,000
長期借入金の返済による支出	△83,588	△112,080
社債の発行による収入	—	491,710
社債の償還による支出	△70,000	△90,000
リース債務の返済による支出	△7,643	△7,710
配当金の支払額	△108,158	△162,758
非支配株主への配当金の支払額	△5,985	△5,985
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,108,625	3,008,175
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△18,996
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	43,915	212,303
現金及び現金同等物の期首残高	1,872,977	3,229,688
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,916,892	3,441,992

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	移動体通信 機器販売関 連事業	太陽光発電 事業	保険 代理店 事業	葬祭事業	不動産 賃貸・ 管理事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	8,401,132	14,742	549,133	338,283	42,618	9,345,910	—	9,345,910
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	38,623	38,623	△38,623	—
計	8,401,132	14,742	549,133	338,283	81,241	9,384,534	△38,623	9,345,910
セグメント利益 又は損失(△)	313,931	△6,995	51,610	30,650	10,046	399,244	△344	398,899

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「太陽光発電事業」において、広島県東広島市における発電営業権を取得したことに伴い、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結会計期間において180,568千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	移動体通信 機器販売関 連事業	太陽光発電 事業	保険 代理店 事業	葬祭事業	不動産 賃貸・ 管理事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	8,432,708	44,780	561,897	343,651	292,416	9,675,454	—	9,675,454
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	88,446	88,446	△88,446	—
計	8,432,708	44,780	561,897	343,651	380,863	9,763,900	△88,446	9,675,454
セグメント利益 又は損失(△)	303,164	△7,357	46,069	30,284	16,911	389,072	△4,183	384,889

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「移動体通信機器販売関連事業」セグメントにおいて、11,183千円の固定資産の減損損失を計上しております。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、エスケーアイ嵐山発電所、エスケーアイ東員第1発電所を開設しております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「太陽光発電事業」において1,262百万円増加しております。

(5) その他

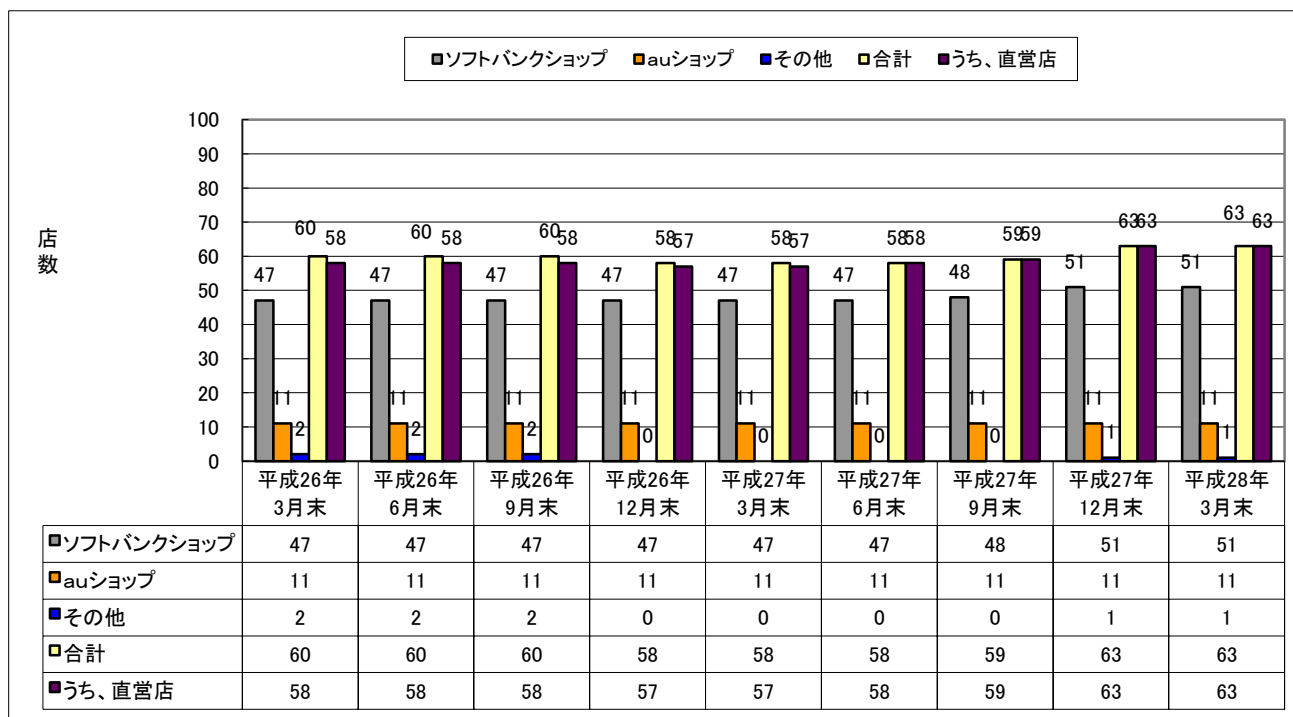
(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(参考資料)

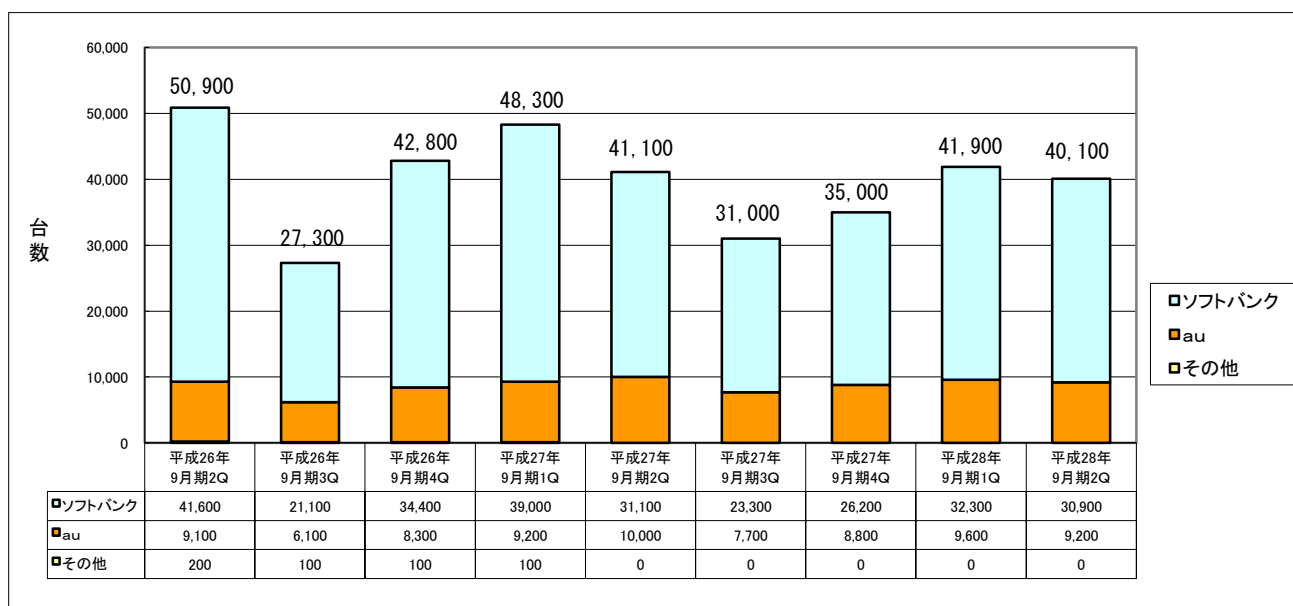
四半期毎の店舗数推移

(単位：店)



四半期毎のキャリア別取扱台数

(単位：台)



なお、台数については百台未満を四捨五入しております。

上記取扱台数に占める新規販売台数の割合及び直営店による取扱比率

(単位：%)

	平成26年 9月期2Q	平成26年 9月期3Q	平成26年 9月期4Q	平成27年 9月期1Q	平成27年 9月期2Q	平成27年 9月期3Q	平成27年 9月期4Q	平成28年 9月期1Q	平成28年 9月期2Q
新規販売比率	47.6	45.4	47.7	35.3	46.9	44.7	40.7	36.3	48.4
直営店取扱比率	98.0	97.9	98.2	98.8	99.1	100.0	100.0	100.0	100.0